

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岡崎女子短期大学
設置者名	学校法人清光学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	幼児教育学科第一部	夜・通信			11	11	7	
	幼児教育学科第三部	夜・通信			11	11	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ガイダンス等で学生へ配付するとともにインターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/coll-release/#box02

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡崎女子短期大学
設置者名	学校法人清光学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

インターネットにより公表
<https://www.okazaki.ac.jp/guide/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元安城市副市長	2022.5.29 ～ 2025.5.28	経営計画の策定、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	中部国際空港株式会社取締役執行役員	2022.5.29 ～ 2025.5.28	地域連携、労務、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	愛知大学特別客員教授	2022.5.29 ～ 2025.5.28	経営計画の策定、地域連携、組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡崎女子短期大学
設置者名	学校法人清光学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画については、各授業担当者への作成依頼の際に、「シラバスを作成する際の注意事項」を配付し、成績評価項目に繋がることを意識した授業の到達目標、各授業回の具体的な計画、授業の目的・目標に応じた多角的な成績基準とその配分割合を設定し記載することを求め、実施されている。 更に、シラバスチェック会議を設置しており、同委員会ではディプロマ・ポリシーに基づく到達目標、授業の目的、自修、授業計画及び成績評価方法等について適正であるかチェックしたうえで、不備などがある場合には修正を求めている。 完成したシラバスは、3月下旬にインターネットにより公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/coll-release/#box03</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業担当者は、あらかじめシラバスに、授業の目的・目標に応じた多角的方法や基準、その配分割合、測定可能な成績評価基準を設定し、学生の学修成果に基づき、シラバスに設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与を実施している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「岡崎女子短期大学履修規程」「岡崎女子短期大学におけるGPA制度の取扱いに関する要項」において、学期GPA及び通算GPAの算出方法を定めている。 学期GPAは、その学期に評価を受けた科目で得たGP(各評価に与えられる数値)とその科目の単位数の乗数の合計と、その学期に評価を受けた科目の単位数の合計を除した数値とする。 通算GPAは、各学期に評価を受けた科目で得たGPとその科目の単位数の乗数の合計の総和と、各学期に評価を受けた科目の単位数の合計の総和を除した数値とする。 本学では、上記のあらかじめ設定した算出方法により、各GPA値を算出している。</p>	

<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/coll-release/#box04 また、履修要項に掲載し、入学時に学生へ配付するとともにガイダンス等において周知している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>岡崎女子短期大学及び幼児教育学科第一部、幼児教育学科第三部ディプロマ・ポリシーを策定し、インターネット等で公表している。</p> <p>岡崎女子短期大学ディプロマ・ポリシー 以下の能力を身に付けた者に対して「短期大学士」の学位を授与する。 DPⅠ：(人間力) 自由と創造の精神に基づき、人として健全でより豊かな成長を目指す力を獲得している。 1. 伝統の学びに加え、現代社会で求められる基本となる教養とコミュニケーション能力を獲得している。 2. 課題を発見し対応する力と主体的に学び続ける態度を獲得している。 DPⅡ：(専門力) 実践の場で活かせる専門分野の基本的な知識・技能や職業倫理を獲得している。 1. 専門分野の知識・技能を身に付け、それを実践の場で活かせる力を獲得している。 2. 職業人としての責任感・使命感・倫理観を獲得している。 DPⅢ：(地域貢献力) 地域社会の発展に貢献するための自己の役割・責任を認識している。 1. 地域社会のニーズを把握し、自己の役割・責任を認識できる力を獲得している。 2. 社会の中で自己の能力を発揮し、地域社会に貢献できる力を獲得している。</p> <p>幼児教育学科（第一部・第三部）のディプロマ・ポリシー 幼児教育学科第一部、幼児教育学科第三部では、以下の能力を身に付けた者に対して「短期大学士（幼児教育）」の学位を授与する。 DPⅠ：(人間力) 1. 社会で通用する教養と、自ら考え学び続ける態度を獲得している。 2. 保育者として他者への共感力と、学びで得た豊かな表現力、コミュニケーション力を獲得している。 DPⅡ：(専門力) 1. 保育の専門的知識・技能を獲得し、子どもの「願い」や「夢中」を引き出す感性や表現力を獲得している。 2. 保育者としての社会的使命、責任を理解している。 DPⅢ：(地域貢献力) 現代社会の保育ニーズの把握に努め、自身の持ちうる能力を発揮することで、多様な環境に対応できる力を獲得している。</p> <p>卒業認定については、上記の方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/coll-release/#box04</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岡崎女子短期大学
設置者名	学校法人清光学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/
収支計算書又は損益計算書	インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/
財産目録	インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/
事業報告書	インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/
監事による監査報告(書)	インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: Seiko G PLAN)	対象年度: 2022-2026)
公表方法: インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/information/	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release-college/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: インターネットにより公表 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release-college/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：インターネットにて公開） https://www.okazaki.ac.jp/guide/philosophy-college/
（概要） 幼児教育学科第一部 豊かな感性と良識を兼ね備えた教養人であると同時に、多様化する現代の幼児教育・保育ニーズに対応できる、優れた実践力を持つ保育者の育成。 幼児教育学科第三部 豊かな感性と良識を兼ね備えた教養人であると同時に、多様化する現代の幼児教育・保育ニーズに対応できる、優れた実践力を持つ保育者の育成。
卒業の認定に関する方針（公表方法：インターネットにて公開） https://www.okazaki.ac.jp/guide/philosophy-college/
（概要） 幼児教育学科第一部、幼児教育学科第三部 以下の能力を身に付けた者に対して「短期大学士（幼児教育）」の学位を授与する。 DPⅠ：（人間力） 1. 社会で通用する教養と、自ら考え学び続ける態度を獲得している。 2. 保育者として他者への共感力と、学びで得た豊かな表現力、コミュニケーション力を獲得している。 DPⅡ：（専門力） 1. 保育の専門的知識・技能を獲得し、子どもの「願い」や「夢中」を引き出す感性や表現力を獲得している。 2. 保育者としての社会的使命、責任を理解している。 DPⅢ：（地域貢献力） 現代社会の保育ニーズの把握に努め、自身の持ちうる能力を発揮することで、多様な環境に対応できる力を獲得している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：インターネットにて公開） https://www.okazaki.ac.jp/guide/philosophy-college/
（概要） 幼児教育学科第一部、幼児教育学科第三部 以下の方針に基づき、カリキュラムを編成する。 CPⅠ：（教養科目の編成方針） 教養科目に関しては、社会・地域とのつながりを理解し、保育者として必要な豊かで柔軟な人間性を育むという方針のもと、初年次教育と教養教育の観点から大学における学びの基礎、言語表現力、情報リテラシー、健康・体力に関する科目を配した教育課程を編成する。 CPⅡ：（専門科目の編成方針）

専門科目に関しては、現代の保育・教育ニーズに対応できる優れた専門職業人（保育者）を育成するために、教育・保育についての理解と子どもについての理解、保育に関する基礎知識と技能や保育実践を有機的に関連させた教育課程を編成する。

以下の方針に基づき、教育を実施する。

CPⅢ：教育・保育の目的を理解し、保育の対象である子どもやその保護者について理解できる保育者を養成する。

CPⅣ：上記の目的を達成できるように、具体的な教育・保育の内容や実践的な方法を理解し、修得を目指す。

CPⅤ：知識、技能の修得に留まらず、自ら課題を発見し、学んだことを基に研究を重ねることを通して、進んで保育実践力を高めていく姿勢と能力を育てる。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：インターネットにて公開）

<https://www.okazaki.ac.jp/guide/philosophy-college/>

（概要）

幼児教育学科第一部、幼児教育学科第三部

入学者に以下の力や資質を求める。

APⅠ：人間力

1. 高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
2. 物事を多面的に捉え、課題を発見し、自ら多様な人々と協働して解決する基礎的能力や姿勢を持っている。

APⅡ：専門力

1. 保育の現場で必要とされる運動、音楽、造形などに関する、基礎的な実技能力を有している。
2. 自らの経験をもとに保育に対する関心を持ち、自ら学び続ける意欲を持っている。
3. 社会における保育の意義について気づいている。

APⅢ：地域貢献力

1. 現代社会の諸問題を把握し、自ら改善策を考える姿勢を有している。
2. 地域社会に深い関心を持ち、貢献する意欲がある。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：インターネットにて公開

<https://www.okazaki.ac.jp/guide/release-college/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
幼児教育学科	—	4人	5人	5人	1人	0人	15人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		34人					36人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：インターネットにより公表 https://www.acoffice.jp/owuhp/KgApp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育学科 第一部	172人	86人	50%	344人	184人	53%	人	人
幼児教育学科 第三部	80人	69人	86%	240人	265人	110%	人	人
合計	252人	155人	62%	584人	449人	77%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育学科 第一部	139人 (100%)	1人 (0.8%)	136人 (97.8%)	2人 (1.4%)
幼児教育学科 第三部	59人 (100%)	1人 (1.7%)	57人 (96.6%)	1人 (1.7%)
現代ビジネス 学科	32人 (100%)	1人 (3.1%)	31人 (96.9%)	0人 (0%)
合計	230人 (100%)	3人 (1.3%)	224人 (97.4%)	3人 (1.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業計画については、各授業担当者への作成依頼の際に、「シラバスを作成する際の注意事項」を配付し、成績評価項目に繋がることを意識した授業の到達目標、各授業回の具体的な計画、授業の目的・目標に応じた多角的な成績基準とその配分割合を設定し記載することを求め、実施されている。</p> <p>更に、シラバスチェック会議を設置しており、同委員会ではディプロマ・ポリシーに基づく到達目標、授業の目的、自修、授業計画及び成績評価方法等について適正であるかチェックしたうえで、不備などがある場合には修正を求めている。</p> <p>完成したシラバスは、3月下旬にインターネットにより公表している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>各授業担当者は、あらかじめシラバスに、授業の目的・目標に応じた多角的な方法や基準、その配分割合、測定可能な成績評価基準を設定し、学生の学修成果に基づき、シラバスに設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与を実施している。岡崎女子短期大学及び幼児教育学科（第一部・第三部）ディプロマ・ポリシーを策定し、インターネット等で公表している。</p> <p>岡崎女子短期大学ディプロマ・ポリシー 以下の能力を身に付けた者に対して「短期大学士」の学位を授与する。</p> <p>DP I：（人間力）自由と創造の精神に基づき、人として健全でより豊かな成長を目指す力を獲得している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伝統の学びに加え、現代社会で求められる基本となる教養とコミュニケーション能力を獲得している。 2. 課題を発見し対応する力と主体的に学び続ける態度を獲得している。 <p>DP II：（専門力）実践の場で活かせる専門分野の基本的な知識・技能や職業倫理を獲得している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門分野の知識・技能を身に付け、それを実践の場で活かせる力を獲得している。 2. 職業人としての責任感・使命感・倫理観を獲得している。

DPⅢ：（地域貢献力）地域社会の発展に貢献するための自己の役割・責任を認識している。

1. 地域社会のニーズを把握し、自己の役割・責任を認識できる力を獲得している。
2. 社会の中で自己の能力を発揮し、地域社会に貢献できる力を獲得している。

幼児教育学科（第一部・第三部）ディプロマ・ポリシー
 幼児教育学科第一部・第三部では、以下の能力を身に付けた者に対して「短期大学士（幼児教育）」の学位を授与する。

DPⅠ：（人間力）

1. 社会で通用する教養と、自ら考え学び続ける態度を獲得している。
2. 保育者として他者への共感力と、学びで得た豊かな表現力、コミュニケーション力を獲得している。

DPⅡ：（専門力）

1. 保育の専門的知識・技能を獲得し、子どもの「願い」や「夢中」を引き出す感性や表現力を獲得している。
2. 保育者としての社会的使命、責任を理解している。

DPⅢ：（地域貢献力）
 現代社会の保育ニーズの把握に努め、自身の持ちうる能力を発揮することで、多様な環境に対応できる力を獲得している。

卒業認定については、上記の方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児教育学科 第一部	64 単位	有・無	単位
	幼児教育学科 第三部	64 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：インターネットにて公開
<https://www.okazaki.ac.jp/guide/philosophy-college/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児教育 学科第一部	630,000円	240,000円	375,000円	施設費、教育充実費
	幼児教育 学科第三部	345,000円	190,000円	165,000円	施設費、教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 入学時に国語基礎テストを実施し、基準点に満たない学生に対して学科教員が個別指導・支援を行っている。また、学修に不安を持つ学生に対しては個別学修相談を実施している。 各年次での履修登録申請時における履修指導、保証人との連携のための成績通知書の郵送及び授業内で身につけた力をGPA制度を用いて数値化し学生に公表している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) キャリア支援年間計画による職業指導（キャリアガイダンス・キャリアデザイン講座・合格支援講座・資格取得支援）及びキャリアカウンセラー2名の配置、Webによる就職支援システムを整備している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 保健室では、最近の複雑なストレス社会のなかで増加しつつある学生の心の健康問題に対応できる心理カウンセラー（臨床心理士）を2名配置し保健相談を行い支援している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：インターネットにて公開 https://www.okazaki.ac.jp/guide/release-college/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F223310107085
学校名	岡崎女子短期大学
設置者名	学校法人清光学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		36人	37人	73人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	16人	
	第Ⅱ区分	18人	17人	
	第Ⅲ区分	5人	4人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				73人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定			
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)			
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況			
「警告」の区分に連続して該当			
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	後半期	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	
3月以上の停学	
年間計	
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	
訓告	
年間計	
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)			
G P A等が下位4分の1			
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況			
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。